

回転ディスク電極水平サポートスタンド

商品番号: PL-DZ01



前書き

高純度PTFE製回転ディスク電極用水平サポートスタンド（レベリングベース付き）は、最大6本の電極を保持できます。電気化学研究、電池テスト、腐食分析のために設計されており、優れた耐薬品性と安定性を提供します。カスタム構成については、お見積もりをご請求ください。

[詳細を学ぶ](#)

応用	説明	主な利点
電気触媒スクリーニング	酸素還元または水素酸化反応を使用して、同一の流体力学条件下で複数の触媒配合を並列評価します。	クロスコンタミネーションのリスクを最小限に抑えた高いスループット。単一の実験実行からの直接比較データ。
リチウムイオン電池研究	次世代電池のカソードおよびアノードの回転ディスク電極における酸素発生/還元反応を研究します。	安定した不活性なプラットフォームにより、電気化学シグネチャを歪める可能性のある金属サポートによる副反応が防止されます。
腐食速度テスト	複数の電極を同時に使用して、攻撃的な媒体中の金属サンプルの腐食電流を測定します（例：インヒビター効率の研究）。	精密なレベリングと耐薬品性により、信頼性が高く再現性のあるデータ。サポートスタンド自体からの寄与はありません。
めっき浴分析	電流-電位曲線を監視することにより、めっき液中の添加剤の性能と物質移動特性を評価します。	PTFEの不活性性により、めっき化学への干渉が回避され、浴成分の正確な評価が保証されます。
センサー開発	感度と検出限界を決定するために、回転電極を使用してアンペロメトリックまたはボルタンメトリックセンサー応答を特性評価します。	多電極セットアップにより、センサーコーティングまたは電極材料の迅速なプロトタイプングと比較が可能になります。
燃料電池膜研究	回転ディスク電極技術を介して、固体高分子形燃料電池用電気触媒の活性を評価します。	クリーンで金属不含の環境により、サンプルの完全性が維持され、サポート由来の金属イオンによる被毒が回避されます。
学術研究と教育	教育ラボで、物質移動、反応速度論、流体力学ボルタンメトリーなどの基本的な電気化学原理を実証します。	堅牢な設計は頻繁な取り扱いや学生の使用に耐え、簡単なセットアップによりラボの準備時間が短縮されます。
光電気化学	太陽燃料生成研究のために、RDEチップに取り付けられた半導体電極上の光誘起電気化学プロセスを調査します。	透明で非汚染性のベースにより、安定した回転を維持しながら、遮られない光路が可能になります。

仕様	値
モデル	PL-DZ01
素材	パーজনPTFE（ポリテトラフルオロエチレン）
電極装着容量	最大6本の回転ディスク電極
ベース設計	調整可能な足付きレベリングベース。追加の安定性のための補助プラスチックベース
対応電極タイプ	標準RDEチップ（シャフト直径は通常3~6mm、カスタムはご相談ください）
耐薬品性	ほとんどの酸、塩基、有機溶媒に耐性。pH範囲0~14

仕様	値
動作温度範囲	-200°C~+260°C (PTFEの限界)
製造方法	PTFEブロックからのCNC加工
表面仕上げ	滑らかで多孔質がなく、非粘着性
寸法 (典型的)	カスタマイズ可能。正確な仕様についてはKINTEKにお問い合わせください